

科目名	服飾手芸	学年	3年	使用教材	【教科書】ファッション造形 実教出版
		必修・選必修 コース選・ <span style="border: 1px solid black;">テクニカルコース必</span>			【副教材】
		単位数	2単位		
<b>学習目標</b> 手芸の種類と変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得させ、手芸品を創造的に製作し、服飾に活用する能力と態度を育てる。					
<b>学習方法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 服飾材料としての各種手芸の技法及びそれら手法を用いた手芸品の製作に関しては、実験・実習を中心として扱うように配慮する。</li> <li>○ 手芸品の製作については、計画を立てて作品の製作ができるようにし、その際、用具や器具、薬品、染料などの取り扱いについては、安全に充分留意する。</li> <li>○ 手芸の種類と変遷については、刺繍、編物、染色、織物及びその他の手芸を地域の伝統文化や歴史などともかかわらせて扱うこと。</li> <li>○ 各種手芸の技法については、刺繍、編物、染色、織物及びその他の手芸の中から選択して、基礎的な技法を習得させる。</li> </ul>					
<b>学習評価</b> ○評価は、提出物・日々の授業態度や出席状況を、次の4つ観点に基づき、学習内容のまとめごと、学年末に5段階の評定に総括します。					
①関心・意欲・態度		服飾材料としての各種手芸の技法及びそれらを用いた手芸品の製作などについて感心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけようとしている。			
②思考・判断		服飾材料としての各種手芸の技法及びそれらを用いた手芸品の製作の方法などについて主体的に思考し、手芸作品が完成するように適切に判断し、工夫・創造する能力を身につけている。			
③技能・表現		服飾材料としての各種手芸の技法及びそれらを用いた手芸品の製作などに関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。			
④知識・理解		服飾材料としての各種手芸の技法及びそれらを用いた手芸品の製作などをするために必要な知識を総合的に身につけている。			
○学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。					

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
一学期	1、授業のオリエンテーション 2、手芸の作品製作 ① ネクタイ ② しわ加工の基本的な技法及びそれを用いた作品製作 ③ 帽子	○服飾手芸の目的をよく理解し、製作した作品に応用できる知識や技術を身につける。 ○作品に応じた材料を選択することができる。 ○常にていねいできれいな作品製作をこころがける態度を身につける。	○プリント、ワークシート、段階標本、実物見本などを活用し、ネクタイ・しわ加工・帽子の製作方法について学習し、作品製作を行う。 (学習状況観察) (製作物) (自己評価)
二学期	④ スモッキング ⑤ コサージュ ⑥ バッグ ⑦ 羊毛のフェルト化	○服飾手芸の目的をよく理解し、製作した作品に応用できる知識や技術を身につける。 ○作品に応じた材料を選択することができる。 ○常にていねいできれいな作品製作をこころがける態度を身につける。	○プリント、ワークシート、段階標本、実物見本などを活用し、スモッキング・コサージュ・バッグ・羊毛のフェルト化の製作方法について学習し、作品製作を行う。 (学習状況観察) (製作物) (自己評価)
三学期	⑧ フェルトを用いた作品 ⑨ 一年間のまとめ	○作品及び材料にあったデザインを考えることができる。 ○一年間に製作した作品のまとめをする。	○プリント、ワークシート、段階標本、実物見本などを活用し、フェルトを用いた作品の製作方法について学習し、作品製作を行う。 (学習状況観察) (製作物) (自己評価)

